

図書だより 9月号

姫路東高等学校
図書館
R4. 9. 1

●オススメ図書●

岡田明美先生
推薦！

『まとまらない 言葉を 生きる』（著：荒井裕樹）

「自己責任」一以前、科目選択を間違ったことに進級してから気付いた生徒に、「自己責任だからねえ。」と担任の先生の放った一言。その当時、この言葉は流行語大賞にノミネートされたりして、知らないわけではなかったが、実際に耳にしたのはその時が初めてだった。なんとなく嫌気がした。なぜか？確かに、シラバスを読んでいなかったのは本人だ。担任と面談もしているはずだから、その時に真剣に考えていなかったのも自分だろう。なのに、この言葉の持つ不快感。

「自己責任」一今やこの言葉は社会に溢れている。本書の著者、荒井裕樹さんはこの言葉を「いま、ぼくが一番警戒レベルを上げている言葉のひとつだ。」と言う。「この言葉は『自分の行いの結果そうなったのだから起きた事柄については自分でなんとかすべき』だから『この社会で何か痛ましい出来事が起きたとしてもそれは他人が心を痛めたり、思い悩んだりする必要はない』ということになる。」つまり、「この言葉が他人の痛みへの想像力を削いでしまうからだ。」と。そうなのだ。理由は分かった。

言葉がその人を表すのではない。言葉でその人は造られていく。

クラス対抗 図書貸出数ランキング

Best 5!

1位	1年1組	(53冊)
2位	職員組	(41冊)
3位	1年5組	(28冊)
4位	1年4組	(17冊)
5位	2年2組	(17冊)

(4月8日～8月25日)

新着図書



みえるとかみえないとか	ヨシタケシンスケ
あるかしら書店	ヨシタケシンスケ
ものは言いよう	ヨシタケシンスケ
あんなにあんなに	ヨシタケシンスケ
ころばいいのに	ヨシタケシンスケ
このあとどうしちゃう	ヨシタケシンスケ
WHAT HAPPENS NEXT?	ヨシタケシンスケ

「絵本コーナー」できました！！



高校生や大人が読んで面白く、ものの見方や発想のユーモアさに感心させられる、でもなんだか深い、そんな絵本を集めました。

特にヨシタケシンスケさんの絵本は、みなさんにぜひ一度読んでもらいたいおすすめの本です。彼の絵本は、どこかとぼけたユーモアを愛らしいイラストにのせて読者に届けます。それだけではなく、「考える」ことが丁寧に扱われている（哲学研究者 永井玲衣さん）、

「ここまで徹底して、想像の部分に焦点をあてた絵本はあまりなかったのでは（絵本編集・装幀家 小野明さん）」と、いろいろな業界の方々から高く評価されています。

Let's learn from books!



9月の休館日

2022年09月						
日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	1	2	3 休館日
4 休館日	5	6	7	8	9	10 休館日
11 休館日	12	13	14	15	16	17 休館日
18 休館日	19 休館日	20	21 休館日	22	23 休館日	24 休館日
25 休館日	26	27	28	29	30	・
・	・	・	・	・	・	・

開館：昼休み・放課後（17時 まで）

※21日(水)の体育大会が順延になった場合、
図書館休館日も同様に移動します。